

うない通信

国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室 ニュースレター Vol.9 2016年3月発行



琉球大学は、平成24年度に採択された科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業」を通して、本学の女性研究者が仕事と家庭生活の両立しながら、その能力を最大限に発揮できるよう、研究環境および職場環境を改善する取り組みを行ってきました。本学の「男女共同参画室」と「うない研究者支援センター」を中心に、平成24年度から26年度の3年間をかけて行ったこの事業を通して、本学の「男女共同参画」への意識は飛躍的に向上したと言えるでしょう。

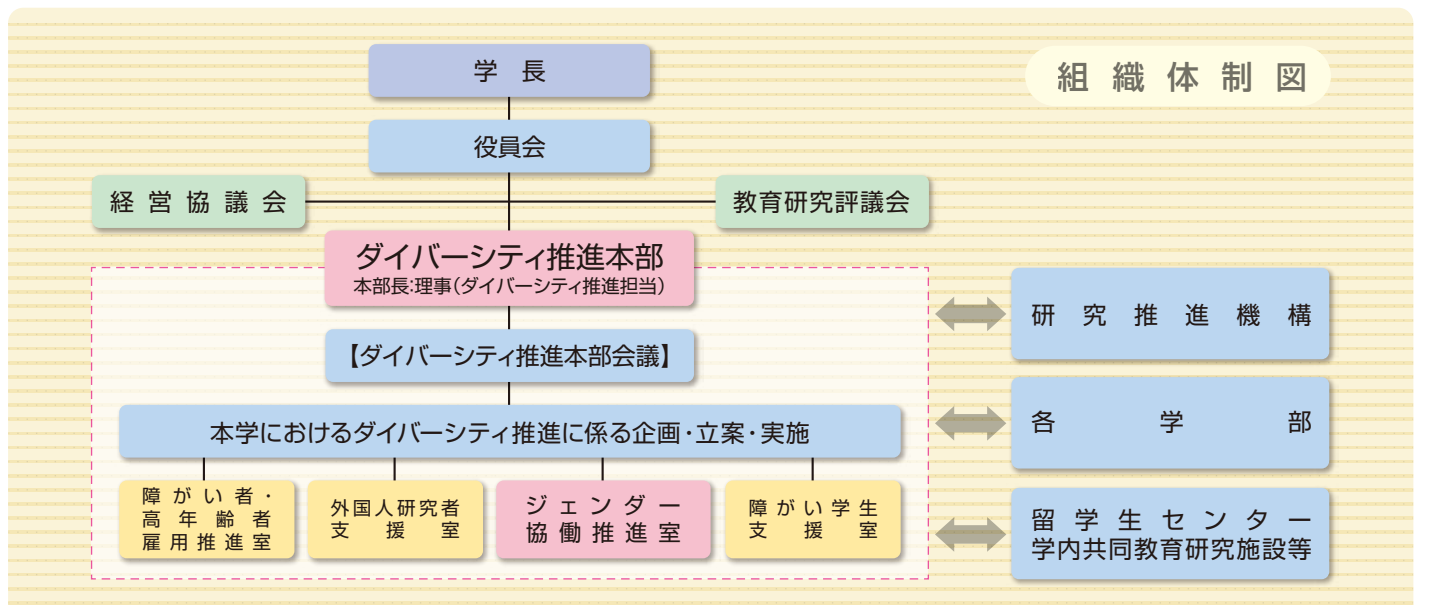
この事業で得た経験により、本学は次の目標として、グローバル化の時代における大学の人材マネジメントのあり方にも目を向けるようになりました。その結果、平成27年度より学長直轄の「ダイバーシティ推進体制」が発足しました。「ダイバーシティ」は、英語で「多様性」という意味で、人それぞれの「差異」をかけがえのない個性として尊重することによって、そこに強みを見出し、こうと考える考え方が含意されています。この新体制のもと、「男女共同参画室」と「うない研究者支援センター」の機能を統合し、新たに「ジェンダー協働推進室」を設置しました。

さらに本学は、平成27年度より文部科学省と国立研究開発法人 科学技術振興機構による補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」にも採択されています。日本の大学における女性研究者の割合は他国と比べて極めて低いのが現状ですが、向こう6年間で、まずは女性研究者の在職率アップ、さらには指導的地位にある女性の数を増加させる等の取り組みを推進していきます。「男女」という枠に収まらない性のありようも明らかになる昨今、「多様な性」を包摂する「ジェンダー」という用語をネーミングに採用した本推進室では、性的な属性によって不利益を被ることのない教育・研究環境を実現するよう引き続き取り組んでまいります。皆様のご理解とご参加を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



ジェンダー協働推進室長
喜納 育江

組織体制図



ジェンダー協働推進室メンバー紹介

喜納 育江	室長(国際沖縄研究所 教授)	上原 比呂美	総務部人事課 課長代理(労務管理)
小西 照子	副室長(農学部 准教授)	金城 順二	総務部人事課 職員係
小林 かおり	マネージャー(特命准教授)		
深谷 桃子	コーディネーター(特命助教)		
比嘉 愛沙	事務補佐員		

第1回 意識啓発セミナー 開催のお知らせ

大学運営に関わる管理職をはじめ全教職員を対象に、「第1回意識啓発セミナー」を開催します。今後、大学間競争がますます加速し、また教員組織と職員組織の連携・協働が大学運営において求められる中で、男女共同参画の視点から広く人材を登用していくことが不可欠であることを本セミナーでわかりやすくご説明いただきます。

日時:平成28年3月10日(木) 13:30~15:00
場所:大学本部4階 第一会議室
講師:吉武 博通氏
(国立大学法人筑波大学ビジネスサイエンス系教授、お茶の水女子大学監事)
演題:「大学改革と男女共同参画の推進」



女性研究者のためのリーダーシップ研修 開催のお知らせ

女性研究者がグローバルリサーチリーダーを目指しつつ、所属部局等の教育・組織運営に主体的に関わり、大学教員として定着し持続的な活躍を促進することを目的としています。英語による実践的なスキルアップ、マインドアップを図るためのプログラムです。

日時:平成28年3月21日(祝・月)~22日(火) 1泊2日
講師:Dr. Linda von Hoene, Dir. Sabrina Soracco (University of California, Berkeley)
対象:本学に所属する女性教員 20名程度
詳細は当室WEBサイトをご覧ください。



サイエンスプロジェクト for 琉球ガールズ~本島編 開催のお知らせ

琉球大学と沖縄科学技術大学院大学(OIST)の研究者・学生が講師となって、最先端の科学を楽しく学べる講義や実験を実施します。琉球大学亜熱帯フィールド科学教育研究センター・与那フィールドでは高嶋敦史先生が、希少な生物が多く、その生態系や生物多様性が世界的にも評価されているやんばるの森の環境や成り立ちについて講義を行います。

日時:平成28年3月25日(金)~26日(土)
会場:琉球大学亜熱帯フィールド科学教育研究センター 与那フィールドおよびOIST
対象:県内高校に通う女子高校生 30名程度
締切:3月4日(金)
参加費:3,000円
詳細は、当室WEBサイトをご覧ください。

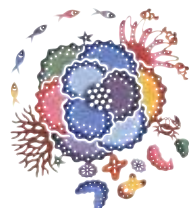


今後の各種支援募集の予定

- 2月 平成28年度病児・病後児保育利用料補助事業(利用期間:4月1日~通年)
 - 3月中旬頃 平成28年度第1期研究活動等支援員配置制度(利用期間:5月1日~9月30日)
 - 3月中旬頃 平成28年度育児サポート・サービス利用料補助事業(利用期間:5月1日~通年)
- ※詳細は当室WEBサイトをご覧ください。

編集後記

本学は、平成27年度「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択されたことを受け、ジェンダー協働推進室に、コーディネーター(平成27年10月)、事務補助員(同11月)、マネージャー(同12月)を配置いたしました。グローバル化の時代において、多様な価値観や働き方が尊重され、より働きやすい環境づくりに貢献できるよう支援活動を推進してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。(マ)



国立大学法人 琉球大学 ジェンダー協働推進室

Gender Equality Promotion Office, University of the Ryukyus

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1番地 大学本部1階 TEL:098-895-8675
E-mail:gender@to.jim.u-ryukyu.ac.jp URL:http://www.gender.jim.u-ryukyu.ac.jp/

文部科学省科学技術人材育成費事業 「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択されました。

琉球大学は、平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択されました。

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」事業とは、研究環境のダイバーシティを高め、より優れた研究成果の創出につなげるため、1.女性研究者のライフイベントとワーク・ライフ・バランスに配慮した研究環境の整備、2.女性研究者の研究力向上のための取り組み、および3.上位職への積極的登用にに向けた取り組みを支援するもので、事業期間は6年間です。

琉球大学は、本事業の目標と計画を次の通り掲げています。

【目標】

- 1.女性研究者の採用比率の向上(25%以上)
- 2.大学全体の女性研究者の在職比率の向上(16%⇒19%)
- 3.女性研究者の上位職(教授職および役員)比率の向上

【計画】

- 1.女性研究者を安定的に確保する人事プロセスの確立
- 2.女性研究者の研究活動に対する支援体制の継続
- 3.組織運営および研究プロジェクトを牽引する女性リーダーの育成、支援体制の拡充、人事システムおよび人事プロセスを含む大学のマネジメント改革を推進

ジェンダー協働推進室の取り組み

ダイバーシティ 研究環境整備のための 取り組み

- *人事プロセスの確立
 - ・女性限定公募
 - ・女性研究者確保の方策に関する答申
- *相談・支援体制の整備
 - ・ジェンダー協働推進室
- *ワーク・ライフ・バランスの推進
「かなさんプロジェクト」
 - ・育児サポート
 - ・病児・病後児保育
 - ・夏期学童保育
- *研究活動等支援員の配置
 - ・研究活動等支援員配置制度

女性研究者の 研究力向上のための 取り組み

- *女性研究者への研究助成
 - ・発展的研究への助成
 - ・女性をリーダーとする研究グループへの助成
- *スキルアップ支援
 - ・各種スキルアップセミナー
 - ・国際学会派遣費用助成
 - ・英文校閲費用助成
- *研究専念制度
 - ・サバティカル制度の活用促進

女性研究者の 上位職への積極的登用に 向けた取り組み

- *女性研究者のリーダーシップの育成
 - ・英語によるリーダーシップ研修
- *全学的な意識啓発
 - ・「ジェンダー協働推進」研修(予定)
 - ・「意識啓発セミナー」

琉球大学における 男女共同参画 取り組みの足跡



女性研究者 支援制度の充実

男女共同参画宣言(平成23年2月22日)

男女共同参画推進のための基本方針(平成23年2月22日)

アクションプラン(平成24年2月28日)

平成24～26年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「女性研究者研究活動支援事業」

平成27～32年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業
「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」

「くるみんマーク(次世代認定マーク)」を取得しました!



琉球大学は、平成27年11月9日付けで、沖縄労働局長から次世代育成支援対策推進法に基づく「基準適合一般事業主(子育てサポート企業)」と認定され、「くるみんマーク(次世代認定マーク)」を取得しました。沖縄県内では14例目の認定、教育研究機関としては県内第1号です。

「くるみん」とは、赤ちゃんが大事に包まれる「おくるみ」と、「職場ぐるみ・会社ぐるみ」で仕事と子育ての両立支援に取り組もうという意味が込められています。

今回「くるみん」マークを取得したことで、本学のホームページ、印刷物、職員の募集要項等への掲載や名刺などへの使用が可能になります。本学では今後も職場環境や教育・研究環境の整備・充実に取り組んで参ります。



2015年4月～2016年2月の主な活動報告

夏休み学童保育2015

平成27年8月3日(月)～8月7日(金)の5日間、琉球大学教育学部附属中学校多目的室において学童保育を実施し、26名の児童が参加しました。

学内の教員・学生およびいくつかの施設からご協力をいただき、サンゴ礁の生き物観察会、農学部放牧地での与那国馬の観察、そして風樹館でのスケッチ大会といった体験プログラムが行われました。「学内なので安心して預けることができた」「子どもが毎日楽しく過ごせた」「積極性が出てきた」といった感想や、「期間を延長してほしい」「他の学童との交流の機会を設けて欲しい」といった要望をいただきました。琉球大学では来年度も継続して実施していきたいと考えております。



第1回 スキルアップセミナー

英語運用能力および研究成果発信力の向上を目的とした第1回スキルアップセミナー「英語論文ライティング講座 アドバンス編」を、平成28年2月6日(土)に開催しました。

エダズ株式会社より講師2名を招聘し、英語論文投稿への計画、効果的な書き方などについて講義を行いました。



育児サポート利用料補助事業

平成27年12月より、在職する職員が育児支援におけるサポート・サービスを利用する場合の利用料の一部を補助することにより、職員の仕事と家庭生活の両立を支援するために「育児サポート・サービス利用料補助事業」を実施しています。平成27年度は5名の利用がありました。平成28年度も育児サポート・サービス利用料補助事業を実施する予定です。

研究活動等支援員配置制度

平成27年11月より、出産・育児または介護等に携わる研究者に対し、研究時間を確保し、研究活動の活性化を促進するために、研究支援員を配置する「研究活動等支援員配置制度」を実施しています。平成27年度は、15名の研究者が本制度を利用し、20名の支援員が配置されています。また、平成28年度は5月より研究活動等支援員を配置する予定です。



新制度スタート

琉球大学では、職員の就業および家庭生活の両立を支援することを目的に、病児・病後児保育を利用する場合の利用料の一部補助を行う「病児・病後児保育利用料補助事業」を開始しました。

補助の対象は、要勤務日において、病児・病後児保育を実施している所定の病院等を利用した場合に限られ、利用金額に応じて補助の金額が異なります。また、利用定員・対象児童・利用時間・利用の申込方法・利用料金等は、保育施設の規定によるものとし、診察や投薬料等医療費、送迎等サービスに係る料金は補助対象外とします。

本補助制度の利用を希望される場合は、所定の募集期間中に利用申請書をジェンダー協働推進室に提出し、採択を受ける必要があります。

平成28年度は4月1日より支援を開始する予定です。